

中学生からの提案 [テーマ] こんなあきしまにしたい

趣 旨

毎年市内中学校 6 校の生徒会代表と市長と懇談を実施してきました。（平成 16 年から懇談会形式。それ以前は「子ども議会」として市長との対話の形をとっていました。）

平成 20 年度は教育委員会のご協力のもと、懇談する（学校生活の様子、市に望むことなど）まえに、基本構想への反映を目的に「こんなあきしまにしたい」というテーマで、市内の公立中学校の生徒会に意見を求めました。

生徒会では、平成 20 年 12 月を中心に、生徒にアンケートをとったり、議論してまとめ、2 月 2 日、懇談会に提案として持ち寄りました。

懇談での主な提案は下記のとおり。懇談の発言要旨は、別添 P2～4 のとおりです。

記

中学生からの提案

平成 21 年 2 月 2 日（月）

15:30～17:00

昭島市役所 庁議室

6 校からの提案

都 市 像			具体策
緑の多いきれいなまち	水がおいしい、緑がゆたかなまち	緑豊かで、美しく自然と共生できるまち	みどりをふやす
みんなが住みたい昭島	みんなが集まるやさしいまち		公園トイレに音楽を流す
老若男女が安心して暮らせるまち	誰もが安心して住めるまち	安心できるまち	歩道と自動車道を分離
	マナーの良い笑顔のまち	マナーが良い街	

【北川市長】

中学生のころ陸上部に入っていて、6 時頃、夜明けともに学校に登校、練習後、早朝出勤をしている先生を講師に、その日の授業の予習をした。母が朝と昼の 2 食のお弁当を届けてくれた。

【昭和中学校】

内野倉史織生徒会長ほか

テニスコートが 7 面ある。部活動の活発な学校です。吹奏楽部は金賞をとりました。地域のお祭りにも参加しています。体育祭や学芸発表会では、みんなの団結力は抜群です。

提 案 1 きれいなまちをつくる

みどりをふやす

公園にはもっと緑をふやす

タバコのポイ捨てが目立ちます。公共施設にゴミ箱設置を

中学生の私たちが取り組めることは、ポスターを作り掲示する、街で呼びかける。

公園のトイレの汚れ、落書きが目立つので、公園トイレに音楽を流すといいと考えました。そうすれば気持ちが清らかになって、落書きしたり汚したりしなくなるから。

提 案 2 マナーが良い昭島になるよう呼びかける、ポイ捨てされやすいところには花壇を置くことを提案します、

心が清らかになりポイ捨てが少なくなると考えるからです。

提 案 3 みんなが住みたい昭島にすることを提案します。

道路の歩道や様々なところにちょっとした段差があり、高齢者や、車椅子を利用される方たちにとっては暮らしにくいと思い、バリアフリー化を推進することで改善されると考えました。

私たちは、今回の提案ためにアンケートをとりました。私たちの考えていた「緑をふやす、きれいな街にしたい」という回答が上位だったので、大変うれしかったです。

【福島中学校】

西山龍一生徒会長 ほか

福島中学ではあいさつを大切にしています。廊下などで先生や生徒同士、業者の方にもしっかりあいさつをしています。ベルマークの取組みでは時計を 2 つ購入し、昇降口において時間を守るように改善しました。赤い羽根募金では、3271 円、緑の羽募金では 4387 円、四川省地震見舞金では 8381 円募金活動をしました。

提 案 「みんなが集まるやさしいまち」を提案します。

全校生徒にアンケートをとった結果から「自然が多いこと」が一番でした。

街灯を設置することで、安心な街になると考えました。特に稲荷神社の通りは、

（昼間、日が落ちてから懐中電灯で照らす、真っ暗状況の3枚の写真を見せながら）暗く夜歩くのは怖いです。

買い物は、みんな遠くてもバスの通っている立川に行きます。それはAバスルートが、清泉中学と福島中学と昭島駅のトライアングルの地域を通っていないからだと考えました。

また塾の終わる時間午後10時にAバスが運行することで、中学生も利用が増えると思います。

【瑞雲中学校】

戸澤鮎香生徒会長ほか

瑞雲中学校は部活動と合唱が自慢です。部活動の時には上下関係を感じませんし、何事にも意欲的に取り組んでいます。また緑を増やすためにも緑の羽募金にも取り組んでいます。

生徒会としては、カーディガンやセーターの校則などの検討も考えています。

提 案 は 1 緑豊かで、美しく自然と共生できるまち

2 誰もが安心して住めるまち

バリアフリーを推進し、道路などの段差の解消を行うことで、誰もが住みやすい街になると思います。

【清泉中学校】

森田早紀生徒会長ほか

清泉中学校は活気があふれているのが伝統です。部活も活発です。全校生徒と地域や卒業生の方々と協力して清泉スピリッツ（清泉中学OBやPTA、青少年とともにあゆむ地区委員会と現役中学生が協力し、祭りなどへの取り組みを行う。又はこの組織をいう。）を制定しました。清泉中としての誇りをもって生活しています。行事の時には特に、団結力があります。

全校生徒にアンケートをした結果、安心できる街が248票でした。そこで私たちの提案は

1 安心できるまち

2 マナーの良い笑顔のまち

誰もが安心して暮らせる街になれば、たくさんの人が集まります。そして、マナーがよく笑顔があふれる街になればみんなが幸せに暮らせると考えました。

【拝島中学校】

金成公武士郎生徒会長ほか

拝島中学校の特徴はネグロス島へ28年間募金活動が続けていることです。部活はどの部活も活発に活動しており、休日にもたくさんの生徒が、練習や試合に取り組んでいます。

提 案 老若男女に優しい街

誰もが優しい気持ちで一緒に暮らせる街になってほしいこと、自動車専用道路意をつくり、車の少ない環境に優しい、誰もが安心して暮らせる街になってほしいと考えました。

【多摩辺中学校】

榎本遥生徒会長ほか

八拍の礼を実践しています。行事や活動は、上級生が下級生のところへ行って指導してくれるなど協力して行事を作り上げることです。

2年生の長野県小川村の農業体験。作物をつくる大変さ、自然の雄大さを実感しています。

人権パネルの制作を通して、人権について考えています。ボランティア活動もしています。

提 案 水がおいしい、緑がゆたかなまち

田中堀のホタル復活に尽力された宮川さんや地域の方々とともに田中堀の清掃活動や、夏のホタル祭りを体験し、環境の維持の難しさも考えこの提案としました。

各中学校からの発表に対し、北川市長から各中学校の生徒たちに向かって「同感です。あるいは市長の考え、行政からの見方」などのコメントとともに、激励のコメントがありました。